

幸せの第2章 出発

【帯広】帯広市の観光名所「旧国鉄広尾線幸福駅」の改築工事が完了し、15日に報道陣向け内覧会が開かれた。新駅舎の外壁は旧駅舎の木材を再利用するなど趣を残しつつ、周辺の舗装などを施し「恋人の聖地」として雰囲気のあるスポットになった。16日は再出発を祝

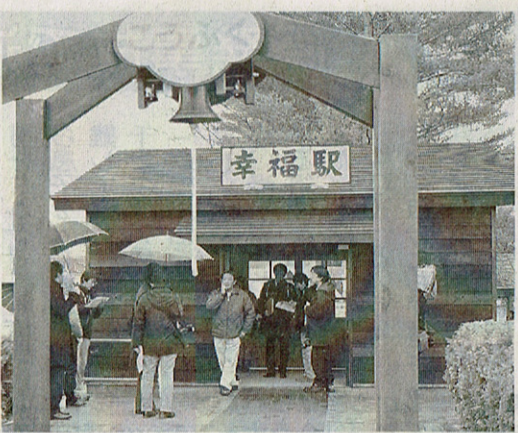
幸福駅きょう 再オープン

うイベントが行われる。

内覧会では、木調の落ち着いた内部や、観光情報などを発信するため設置した高精細な画質が特長の「4Kテレビ」が公開された。

イベントは16日午前11時から。テープカットを午後0時半に行い、同2時から同駅が題材のヒット曲がある歌手芹洋子さんが市内の小学生約40人と合唱し、新たな門出を祝う。改築前の駅舎の壁や天井には、観光客らの名刺や写真が大量に張られていたが、新駅舎でも張ることは可能という。

1956年に開業した幸福駅は70年代、近くの愛国駅から幸福駅行きの切符が人気を呼んだ。87年の広尾線廃止後も観光客が訪れていたが、老朽化が進み、9月から改築工事を行っていた。



16日にリニューアルオープンする

幸福駅の新しい駅舎